



今年の干支

うさぎ(卯)年



卯(うさぎ)は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」な意味を示します。また、その跳び方から「飛躍」、「向上」を象徴するから親しまれてきました。他にも草木が地面を覆うようになった状態を表していますので、新しいことに挑戦するのに最適な年とされています

七草がゆ

お正月過ぎて、7日の朝食に七種類の野菜を入れた粥を食べます。早春野山に咲く若草を食べる事によって、自然界から新たな生命力を得ることができ、無病息災で長生きできると言われています。また、七草には、消化を良くする成分やビタミンCがふくまれているので、お正月のご馳走で弱り気味の胃を少し休めようと言う知恵から始まったとも言われています



鏡開き

1月11日は鏡開きです。お正月にお供えしたお餅を割り、お汁粉などにして頂きます。お餅を割る時に、1年の健康をお祈りすると元気に過ごせると言われています。園児の健やかな成長を願って、園でも11日におやつにおしるこをいただきます。

「素朴な質問から大発見」

新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎えましたが、年末にはコロナウィルス感染が広がり、保護者の皆様には大変ご迷惑やご心配をおかけしました。まだまだ油断ができず、一度コロナウィルスが入ってくると、すぐに感染が広がってしまう恐ろしさを感じました。感染したお子さんも、重症化していないことに安心しておりますが、家族にも感染を広めてしまい、申し訳なく思っています。休園でお仕事の都合などつけていただき、自粛のご協力、ありがとうございました。幼児クラスの子どもたちの室内でのマスクの着用、室内の換気、手指消毒を徹底していきます。保護者の皆様もマスクの着用、手指消毒、県外などの移動、密になる場所へ行くことは控え、慎重に気を付けて行動していきましょう。今回は微熱の続くお子さん、またのどの違和感から発症がわかったお子さんや職員もおります。家族内でも、いつもと違う症状が出られた時は、早めの受診をお願いします。熱が出た場合は熱の原因がわかるまでお子さんの登園を控えていただきますようよろしくお願いいたします。

年末、急に寒くなり、園庭にあられが降った日がありました。子どもたちは興味津々で、空から降ってくるあられを必死で観察していました。「いつもの雪と違うね。」「どうしてぼんぼんはねるの?」なべで集めたり、手に乗せたり、子どもたちは寒さなんかへっちゃらであられに夢中になっていました。「手の上に落ちたあられ、とけちゃうね。どうして?」「ゆきとあられはどうちがうの?」と素朴な質問をしてきました。ご家庭でも、子どもたちは素朴な質問をいろいろして来るとおもいます。そんな時大人は知っていることをすぐに教えようとします。でも大人は先に生まれたから知っているだけで、こんな時は、「どうしてかな」と一緒に調べたり、実体験を通して、素朴な質問の深さを知ること、一緒に考えることが大切です。

「テレビ寺子屋」フジテレビ系の番組から素敵な話がありましたので紹介します。子どもが素朴な質問をした時には、まず褒めるこ

とが大事です。「いい質問だね」「いいところに気がついたね」という風。子どもは生まれた時から、好奇心をもっているのです。「どうしてかな」「なんでだろう」いろんなことに疑問があります。しかしいつの間にか素朴な質問をしてはいけない、間違っではいけないと思い、控えめになってしまうのです。人間らしく生きるためには、好奇心をいつまでも持ち、素朴な質問をすることが大切で、答えより大切なことは、「質問する能力」、「問題発見力」、このことがこれからの教育には必要なのだそうです。大人と一緒にその答えを考える、同じものに取り組んで行くことで、学びにつながります。

アメリカの小学校低学年の子が算数の時間に「セントラルパークの木の葉っぱは何枚あるの?」という質問をしたそうです。その先生は「みんなでフィールドワークをしよう!」という事にし、セントラルパークに行き、木の数を数えるグループ、1本の木の葉っぱの数を数えるグループに分かれ、数える、足していく、掛けていく作業で、葉っぱの数を出したそうです。2時間もかけて・・・。実体験を通して教えたそうです。喜んで勉強することは、子どもたちにとって力になり、深い勉強になります。「どうして空が青いのかな」は科学の勉強、「人は死んだらどこに行くの?」は哲学、宗教につながっていきます。素朴な質問は大発見につながるから大切なのです。(ジェフ・バーグランド先生の話より・京都外国語大学講師。)

これからは不思議に思ったことを質問できる子、なぜ、どうしてと自ら調べたりやってみようとする、主体的な子どもにしていかなければいけません。大人は子どもと同レベルで取り組み、作業と一緒にすることで「なぜ」、「どうして」を一緒に考える存在でありたいですね。

今年もあそびの中で、生活の中で、子どもたちのつぶやき、不思議だなと思うことを、一緒に考えたり、実体験を通して答えを探していき、子どもの学びにつなげたいと思います。私たち大人もいつまでも好奇心を持って過ごしていきましょう。

くまの・みらい保育園 園長

タイヤをうめるよ!



てつだってあげるよ

一人ひとりがしゃべるを取りに行って、先生のお手伝いをしてくれました

フランク

おしてあげるね!



一対一で白組さんがついて、ぶらんこを優しく押してくれました。

くろまめ

くろまめむいてあげるね



「おもしろいね」と楽しみながら黒豆をさやからだす手伝いをしてくれました。幼児さんのお餅に入りました。

今年も子どもたちのやってみみたいことをどんどん実現させていきます!

黒豆について

黒豆は、おせち料理に代表的な料理の材料の一つで、祝い肴三種のひとつです。(祝い肴三種：関東では、黒豆、数の子、田作り)

黒豆の意味は



「よく働く」
「太陽を意味する」
「精を出してよく働き、体が丈夫なこと」
「一年間の厄払いをして、今年一年元気で働けるように」
お正月に黒豆を食べ、健康で1年を元気で過ごす。
年のはじめに本当に縁起がよくなる食べ物です。熊野町の特産でもあります。しっかり豆を食べて1年間元気に過ごしましょう。